



きさらづ

市議会だより

平成19年8月1日

第97号

発行:木更津市議会
編集:木更津市議会広報委員会
〒292-8501 木更津市潮見1-1
.0438(23)7111

http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/



大輪のひまわりが咲く『花ほたる』(金田地区) 写真提供:木更津市農業振興協議会

6月定例会

学校の耐震補強・校舎改修に関する 工事請負契約の締結についてなど 21議案を可決

6月市議会定例会は、6月12日から27日までの16日間の会期で開かれました。今定例会では、市長から提出された一般会計補正予算や工事請負契約の締結についてなど14議案及び特別委員会の設置に関する発議案など7議案、合計21議案が審議され、可決・承認されました。

長報告どおり原案可決4件と決定しました。

2日目 6/13
3日目 6/14

各日とも5人の議員が、市政に対する一般質問(個人質問)を行い、市当局の見解をたてました。

4日目 6/15

前日までに引き続き、3人の議員による一般質問(個人質問)が行われ、質問終了後、人事案件を除く議案8件(議案第44号・第45号・第48号・第53号)及び請願1件について大綱質疑が行われました。

本会議再開後は、審査結果などについて、委員長に報告を求めた後、質疑・討論・採決が行われました。この結果、各案件とも委員

決定した後、議員派遣、例月出納検査の結果等に関する諸報告が行われました。次に、市長提出議案14件(議案第40号)第53号)と請願1件及び陳情3件が上程され、提案理由の説明が行われました。続いて、学校耐震補強工事等の契約に関する

本会議の経過

初日 6/12

今定例会の会期を6月27日までの16日間と

6月定例会の日程

日程	議事の内容
6月12日(火)	本会議 (諸報告 議案等上程 議案の大綱質疑 議案付託 議案審議)
13日(水)	本会議 (一般質問)
14日(木)	本会議 (一般質問)
15日(金)	本会議 (一般質問 議案等の大綱質疑 議案付託 議案上程・審議)
20日(水)	常任委員会(総務 経済環境)
21日(木)	常任委員会(建設 教育民生)
27日(水)	本会議 (議案等審議 諸報告 議案上程・審議 閉会中の継続調査議決)

紙面ガイド

- 1面 本会議の日程と経過
- 5-2面 一般質問と答弁の概要
- 6・5面 議案等の内容及び議決結果
- 6面 新たに設置された特別委員会

最終日 6/27

続いて、議案8件、請願1件及び陳情3件を、次のとおり所管委員会へ付託することとしました。なお、一般会計補正予算に関する議案は、補正内容別に所管委員会へ分割付託され、詳細に審査されました。

この結果、各案件とも委員長報告どおり原案可決8件(議案第44号・第45号・第48号・第53号)、採択4件(請願第1号・陳情第2号・第4号)と決定しました。

次に、付託省略議案(議案第46号・第47号)が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

最後に、議員発議案4件(発議案第7号、第10号)が上程され、委員会付託を省略し審議した結果、いずれも原案どおり可決され、6月定例会の全日程を終了しました。

暑中お見舞い申し上げます
皆様のご健勝をお祈り申し上げます
本更津市議会
公職選挙法により、議員等は時候の挨拶状を出すことが禁じられています。
市民の皆様のご理解をお願いいたします。

6月定例会 一般質問と答弁の概要

個人質問13人

6月定例会では、13人の議員が市政に対する一般質問(個人質問)を行い、大綱33点・144項目にわたり市当局の見解や方針などをいただきました。

紙面には、各議員の質問趣旨(大綱)と、質問議員が選択した大綱1点について質問と答弁の概要を掲載しました。

なお、本会議の全容を記録した会議録は、行政資料室・図書館・公民館などで閲覧することができます。また、インターネットによる、検索・閲覧も可能です。

斉藤 高根 議員

金田内の区画整理
金田バスターミナル
小櫃川河口干潟
漁業振興
市道1109号線

問 金田西地区では、所々にダンプカーが砂を運び入れ、盛土が行われているが、地元住民は事業の現状がどうなっているのか不安を募らせている。事業主体である千葉県は、地権者へどのような説明を行っているか

答 県は、事業内容を見直し、計画変更認可取得に向けた作業を進める中、昨年から西地区のまちづくり協議会や地元地権者等に變更内容の説明をしている。概要では、保留地処分金が地価下落により大幅に減少することから、事業費削減を図り、時代に即した土地利用の見直しを行うこととしている。具体的には、瓜倉地区の既存集落存置、盛土への公共事業で発生する流用土活用、街区の大型化、平均減歩率の変更による事業収支改善を図り、

大村 富良 議員

教育行政について
消防行政について

問 消防庁舎は耐震診断の結果、耐震基準で要求される目標値を満たしており、耐震性を満たしているとのことだが、かなり老朽化が見られる。災害の大小に関わらず、情報通信、作戦、指揮等の拠点となる重要施設であり、大地震等に十分耐え、機能が果たされるか心配している。耐震結果の数値は、最近発生している地震で、どの規模までを想定して安全と判断しているのか

答 現在の消防庁舎は昭和47年に建設以来、35年を経過し、耐震性を満足しているとはいえず、出窓部分の改修や外壁補修の必要性は感じており、既に敷地内の訓練塔は危険判定により撤去した。庁舎は、昭和62年の千葉県東方沖地震(マグニチュード6.7規模)に



早期の延伸が待たれる中野畑沢線(金木橋)

約344億円の総事業費が半額程度になるとのことである。

問 木更津駅西口から中野畑沢線を経て、アクアラインに接続する高速バスルート計画があると聞か、区画整理地内の都市計画道



築35年を経過する消防庁舎

も耐えており、耐震診断方法として1次診断より精密な第2次診断法の診断では、この建物に想定される地震動に対する耐震判定指標以上の数値(0.75以上)の結果であったことから、既存鉄筋コン

平野 秀樹 議員

みなとまち木更津の再生について
木更津市の防犯活動について

問 みなと木更津再生構想の起爆剤となる築地地区の大型集客施設立地については、昨年6月議会でイオン(株)と(株)ロジコム2社の進出について公表されたが、開業に向けた現在の状況を伺いたい

答 進出事業者2社と地権者の新日本製鐵(株)による施設等の立地手続きが進められており、6月にはイオン(株)から千葉県に建築許可申請がされ、審査中と聞いている。

問 木材港と内港地区では、木更津港港湾計画の改訂が予定されることだが、これまでの取り組みを伺いたい

答 港湾計画改訂作業が港湾管理者の千葉県により進められている。18年度実施の「木更津港構想検討調査」では、みなとの新しい方向性や内港地区と木材港地区の整備方針について様々な検討が行われた。19年度では、内港地区の海洋性レクリエーション機能の整備にあたり、東京湾のマリーナ利用者を対象に木更津港湾に対するポर्टユーザーの意識調査を市が実施したほか、市制施行65周年記念として、港まつり花火大会時に、海上から花火を観覧できるレストラン船を誘致する等今後の内港活性化につなげていきたい。また、木材港地区では、隣接する公共岸壁や築地の大規模集客施設立地等を考慮したうえで、水面や土地の利活用について十分検討していきたい。市では、「みなとまち木更津」にふさわしい整備が、平成20年度末改訂予定の次期港湾計画に反映されるよう努める。



木材港地区の貯木池

一般質問と答弁などをケーブルテレビ・FMラジオで放送

本会議での一般質問の様子を、質問当日の夜などに、ケーブルテレビとFMラジオで放送しています。

内容 / 1回目の質問と答弁(1議員30分)
放送 / JCOM木更津(2ch)・FM木更津(83.4MHz)
時間 / 定例会ごとに異なります。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

傍聴者の状況

区分	4~6月計	19年累計
本会議	105人	198人
委員会	4人	4人
合計	109人	202人

佐藤 多美男 議員

住民税増税と介護認定者への障害者控除について
羽田へのダンプ通行対策について

ゴミ袋代の引き下げについて
新日鐵株管理センターの木更津移転について

問 羽田空港の拡張
工事に伴い、1日に7
千台以上の大型ダンプ
カー輸送が予想され、
交通渋滞で市民生活や
産業活動に大きな影響
が出る懸念されている。
本格的な土砂運搬
が始まる今後は、国道
16号や県道、住宅地の
通学路等もダンプ街道
化し、深刻な交通渋滞
や騒音、振動被害等が
心配される。通学児童
等の歩行者への交通安

全対策や交通渋滞対策
はどうしているか

答 国、県、市、事
業者等の関係団体で組
織する「羽田再拡張D
滑走路建設工事山砂安
全連絡会」では、運搬
ルートを国・県道等の
幹線道路とすること、
危険箇所にかーブミラ
ーや安全看板を設置す
ること、第三中学校前
の国道には通学時間帯
に交通誘導員を配置さ
せること等の措置を講



国道16号を通行するダンプカー

じるよう、交通安全対
策が了承されている。
また、ダンプカー運
手へは、安全講習会
の受講を義務付け、安全
教育を徹底している。

問 騒音、排ガス、
振動等の環境問題対策
はどうなっているか

答 山砂運搬に伴
う騒音等の監視体制
としては、羽田D滑
走路JVが通行道路
沿線において測定し
ており、現在、長須
賀で交通量調査、桜
井及びかずさアカデ
ミアパーク前交差点
で騒音、振動、粉じ
ん、交通量の調査を
実施中である。この
ほか、従来からの定
点測定を含め、千葉
県が草敷、潮見、祇園等
の7地点で、また市
は畑沢、茅野等の5地
点で継続調査を行っ
ているほか、県が昨年12
月から今年2月まで着
工前の調査を実施し
た。

山形 誠子 議員

国民健康保険について

PFI方式の2事業について
保育問題

問 本市の国民健康
保険被保険者資格証明
書の発行数は、県内
でも最悪な状態にある。
保険証が交付されな
かったために、痛みを
我慢して手遅れになっ
た市民が何人もいると
話を聞いたが、保険証
未交付は命に関わる問
題という認識はあるの
か

答 国民健康保険は、
国民皆保険制度の下で
掛金としての国保税を

納税してもらったこと
を前提とした相互扶助
制度である。滞納者
に対して一律に資格
証明書を交付してい
るのではなく、被保
険者の義務として課
税されている国保税
を特別に事情が無く
いにも関わらず、納
限を1年経過しても
滞納を続けている人
には、督促状、催告
書の発送、夜間の電
話催告、呼び出し納
税相談、臨戸徴収等
、納税に向けた



市役所の保険年金課窓口

様々な対応をした上で、
それでも納税に
応じてもらえない場合
に、税負担の公平を
確保する意味から
資格証明書を発行
している。

問 病人や乳幼児の
いる世帯や母子世帯
への資格証明書発行
数は

答 21の乳幼児世
帯へ交付している
が、病人や母子世
帯への交付数は把握
していない。

問 国会では安倍
首相が「むやみに資
格証明書を発行して
はならない」と答弁
しているが、なぜ本
市は毎年2千近い世
帯が資格証明書なの
か

答 日頃から納税義
務者と接触を図る中
で分割納付等、でき
る限りの方策を講
じているが、それ
でも納税に
応じてもらえない
場合は、法令を
遵守し適切に
対応している。

白坂 英義 議員

行財政改革について

環境行政について
選挙行政について

問 行財政改革5
年プランに関する平
成17年度の成果とし
て、達成率や効果金
額で目標を上回る結
果が報告された。こ
のうちの40項目程
度までに33まで減
少し、現在28まで
削減したとのことだ
が、どう評価してい
るか

答 特殊勤務手当は
「著しく危険、不快、
不健康又は困難な勤
務」

問 特殊勤務手当に
ついて、プランでは
21年度までに削減
効果額を1億円とし
ているが、今後どの
ような取り組みを計
画しているのか

答 平成16年度に
手



特殊な勤務の一例(救助作業訓練の様子)

ね、勤務の特殊性が
認められないもの、
支給対象職員範囲
が広すぎるもの、他
の手当又は給料です
で措置されている
もの等、制度の趣旨
に合致しないもの
については見直しを
図りたい。

問 実績のない手
当等は廃止への検討
を行うべきと考える
が、プランでは相
応の効果額を見込
んでおり、当面見
直しはしないのか

答 手当改定は賃
金労働条件の変更
となるため、現在
も組合等と見直し
に向けた協議を行
っている。

譲られるからこそ、
木更津の歴史、文
化芸術に特化した展
示等が可能である。
博物館をどう活用
し、子どもたちに
還元していくのか

答 児童、生徒が、
展示してある身近
な地域の歴史や文
化に触れることで、
市への愛着心を
育て、次世代を
担う子どもたちが、
ふるさとに住み続
けたいという意欲
形成や、歴史、文
化を後世に伝える
原動力となる。な
お開館時期は、平
成20年4月の移
譲後に展示替え
等の準備を終え
ていく。

岡田 壽彦 議員

教育環境の整備について

福祉の向上について
防災行政について

問 県立上総博物館
の移譲については、
県に対して正式な申
入れを行い、すでに
県の財産処分委員
会で決定されたこと
が、大きな施設だ
けに市全体として
の施策を考えた上
で、千葉県内の博
物館として有数の
歴史を誇る上総博
物館を譲り受ける
ことに決意、意気
込みを伺いたい

答 県内初の県立博
物館を譲り受け、
「教育都市さくらづ
」にふさわしい市
立博物館として新
装オープンしたい。
同博物館の収蔵資
料は、国指定重要
文化財の「上総掘
り用具」、県指定
文化財の「東京湾
のり生産用具」等
、木更津関連のも
のが多く、入館者
も市民が中心であ
る。移譲を機に、
金鈴塚遺物保存館
から国指定重要文
化財の古墳出土品
を移し、展示



来春に県から移譲される上総博物館

問 市に博物館が移
る

答 児童、生徒が、
展示してある身近
な地域の歴史や文
化に触れることで、
市への愛着心を
育て、次世代を
担う子どもたちが、
ふるさとに住み続
けたいという意欲
形成や、歴史、文
化を後世に伝える
原動力となる。な
お開館時期は、平
成20年4月の移
譲後に展示替え
等の準備を終え
ていく。

國吉 俊夫 議員

道路を含めた公共施設について

商工業振興事業について

問 近年、道路網の変化につれ、通行量が増加傾向にある道路が増えてきた。中でも市役所前から木更津高校に至る市道127号線(潮見木高線)や、中尾地先からアピタ交差点までの市道113号線(牛袋小浜線)は、交通量が大変増加している。他市では袖ヶ浦市の「平成通り」「昭和通り」や君津市の「いやさか通り」等、愛称

名を付けた市道が市民に愛され、定着している。木更津駅西口の「富士見通り」のように、交通量の増加した市役所前道路やアピタ前道路への愛称付けの考えはあるか

答 本市での代表的な道路愛称として「富士見通り」や「あじさい通り」があるが、これらは自然発生的な通称名を尊重したり、地域住民の思いを事由に



交通量が増加する市道113号線

いと考えている。

問 清見台地区の「あかしや通り」や「清見台中央通り」等、地域商店街や市民が道路に愛称を付け、地域活性化につなげようとする運動に対し、応援のPR活動を行う考えはあるか

答 平成14年に地区住民による愛称決定がされたこれらの通りは、住民が道路清掃や植樹帯の手入れを行う等、愛着は大きいと感じる。市も各種広報媒体を駆使し、早く多くの市民に呼称されるよう協力していきたい。

答 同一校舎での小中一貫教育の検討を進めていくべきと考えるが、学校の統廃合について見解を伺いたい

近藤 忍 議員

本市の地震災害対策について

問 市役所は災害発生時に対策拠点となる重要な場所だが、耐震補強はあるか耐震診断も行われているか

答 市役所は災害発生時に対策拠点となる重要な場所だが、耐震補強はあるか耐震診断も行われているか

問 市役所は災害発生時に対策拠点となる重要な場所だが、耐震補強はあるか耐震診断も行われているか



耐震補強等の工事を行う岩根小学校

問 耐震補強工事の割合を伺いたい

答 学校施設が老朽化していることやコスト削減等の点から耐震

問 耐震補強工事の割合を伺いたい

大野 俊幸 議員

まちづくりによる地域の活性化について

行政改革による住民サービスの充実について
木更津市老人保健福祉計画・介護保険事業計画について

問 本市の活性化やまちの再生を目指す「みなと木更津再生構想」では、駅西口地区から内港地区の都心居住促進ゾーンのまちづくり方針として、質の高い居住環境整備の促進を掲げている。また駅西口地区の整備方針には、店舗等の複合施設を持つ都心型集合住宅の整備促進やバリアフリー対応型住宅の整備促進が示されている

問 駅東口にも警察官が立ち寄れるスペースを確保し、巡視をお願いするという目的のもと開設当初から「警察官立寄所」として位置づけ、今日まで至っている。しかし、利用が図られているか



集合住宅建設が進む木更津駅西口

問 平成16年度に国が創設した「まちづくり交付金」は、財政状況の厳しい本市にとつて、道路、公園、景観整備等のまちづくりによる活性化に最も効果的な整備手法と考えるが、交付金導入を検討しているか

答 交付金導入に向け、今後の地域活性化に資するまちづくり指針となる都市再生整備計画案を作成し、快適なまちづくりを行っていききたい。

鶴岡 大治 議員

健康で安心できる生活づくり

問 たちより館「金のすず」の1階の警察官立寄所とされている空きスペースを今後どのようにされるのか説明したい

問 空きスペースをボランティアグループから民間交番として使いたいと申出があった場合の対処は

問 空きスペースをボランティアグループから民間交番として使いたいと申出があった場合の対処は



空きスペース利活用が期待される金のすず

問 民間交番事業は、本年より始まった木更津市中心市街地まちづくり支援事業の対象とならぬか

問 民間交番事業は、本年より始まった木更津市中心市街地まちづくり支援事業の対象とならぬか

平野 卓義 議員

こころ豊かなひとづくり

問 学校支援ボランティア活動推進事業は、平成10年に開始以来、10年を迎え、この間に登録者数は約8倍、延べ活動件数は約25倍と飛躍的に拡大し、今年度のボランティア登録者は千七百八十八名にまで増加している。また、全国各地から視察が訪れ、本市を参考にした学校支援ボランティア活動に取り組み始めた自治体も少なくない。

答 事業の成果として、1つに市民の学校教育に対する関心の高まりから登録者が増加し、本の読み聞かせや書道の指導等の教育活動支援や、花壇の整備や安全パトロール等の環境整備支援まで、学校の教育活動の充実や子どもたちの安全確保への大きな力となっていること。2つに地域の大人と子どもたちの関係が深まり、子どもたちの健全育成につながる地域内の新しい連携が生まれてきたこと。3つに市内小中学校の生活意識調査を分析し



広がるボランティア活動(祇園小の様子)

問 学校支援ボランティアの今後の方向性をどのように考えているか

答 しばらくは登録者数、活動件数を増やす取り組みを続けながら、一方で、子どもたちの成長への効果を分析し、活動内容を見直すとともに、地域がさらに連携する活動のあり方を研究していく必要がある。

荻野 一男 議員

選挙投票所について 不祥事に関する職員の懲罰について 上総博物館と太田山の防空壕と トンネルの活用について

問 移譲される上総博物館と太田山公園の集客数を高めるために、市民から、戦時中の遺産である太田山の下に残る防空壕を有効活用してはどうかと提言を受けた。現在、防空壕とその換気口はどのような保存状態にあるか

答 防空壕は、太平洋戦争当時、太田山公園山頂に砲台が築かれた際に作られたものだが、その後、市が管理

し、現在は立ち入り禁止としている。横穴でつながる防空壕は、奥行き120mのものと10mのものが2本ずつあり、壁はコンクリート、床は赤レンガが敷き並べられている。一部で崩落や地下水等が見受けられるが、これまで本格的な調査は行われていない。また、換気口として、旧安西家西側近くに、直径1.2mのコンクリート製



太田山下にある防空壕跡

問 太田山公園一帯を活性化させ、多くの人々が足を向けてくれるよう知恵や工夫が必要である。防空壕を利用し、高齢者や体の不自由な人のために供する、いたわりと集客を

答 防空壕を利用したエレベーター等の設置にあたっては、ボーリング等詳細な調査を行い、強度判定や一般利用の可能性調査が必要のほか、壕内には湧水等があることから排水設備や安全性確保の経費、さらにエレベーター設置となると膨大な費用を要する。市の財政状況から考えると非常に難しいが、今後色々な角度から調査研究していきたい。

議案等の内容及び議決結果

市長提出議案

議案第40号『工事請負契約の締結について』

計は、六百七十六億四千六十八万円になります。(左表のとおり)

議案第41号『工事請負契約の締結について』

議案第42号『工事請負契約の締結について』

議案第43号『工事請負契約の締結について』

議案第44号『平成19年度木更津市一般会計補正予算(第2号)』

議案第45号『平成19年度木更津市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)』

議案第46号『木更津市固定資産評価審査委員会委員の選任について』

議案第47号『木更津市監査委員の選任について』

議案第48号『政治倫理の確立のための木更津市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について』

議案第49号『木更津市税条例の一部を改正する条例の制定について』

議案第50号『木更津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について』

議案第51号『木更津市下水道条例の一部を改正する条例の制定について』

議案第52号『市道路線の認定について』

議案第53号『市の区域内における君津市道路線の認定の承諾について』

議案第54号『基地発議案第4号』

議案第55号『基地発議案第5号』

議案第56号『基地発議案第6号』

議案第57号『基地発議案第7号』

議案第58号『基地発議案第8号』

議案第59号『基地発議案第9号』

議案第60号『基地発議案第10号』

議案第61号『基地発議案第11号』

議案第62号『基地発議案第12号』

議案第63号『基地発議案第13号』

議案第64号『基地発議案第14号』

議案第65号『基地発議案第15号』

議案第66号『基地発議案第16号』

正する法律等の施行に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 賛成多数

議案第52号『市道路線の認定について』

議会の議決を得ようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第53号『市の区域内における君津市道路線の認定の承諾について』

本市区域内に位置する道路の一部を新たに君津市道として認定することの承諾について、議会の議決を得ようとするものです。

原案可決 全会一致

木更津市監査委員泉清水次郎氏の任期満了に伴い、同氏を再度選任しようとするものです。

原案承認 全会一致

議案第47号『木更津市監査委員の選任について』

木更津市下水道事業審議会の答申に基づき、下水道使用料を改定するため、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 賛成多数

議案第51号『木更津市下水道条例の一部を改正する条例の制定について』

本市区域内に位置する道路の一部を新たに君津市道として認定することの承諾について、議会の議決を得ようとするものです。

原案可決 全会一致

木更津市固定資産評価審査委員会委員花崎龍雄氏の任期満了に伴い、後任者として金網誠三氏を選任しようとするものです。

原案承認 全会一致

議案第46号『木更津市固定資産評価審査委員会委員の選任について』

木更津市監査委員の選任について、

原案承認 全会一致

議案第47号『木更津市監査委員の選任について』

政治倫理の確立のための木更津市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について、

原案承認 全会一致

議案第48号『政治倫理の確立のための木更津市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例の制定について』

木更津市税条例の一部を改正する条例の制定について、

原案可決 全会一致

議案第49号『木更津市税条例の一部を改正する条例の制定について』

国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、

原案可決 全会一致

議案第50号『木更津市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について』

工事請負契約の締結について、

原案可決 賛成多数

議案第40号『工事請負契約の締結について』

工事請負契約の締結について、

原案可決 賛成多数

議案第41号『工事請負契約の締結について』

工事請負契約の締結について、

原案可決 賛成多数

議案第42号『工事請負契約の締結について』

工事請負契約の締結について、

原案可決 賛成多数

議案第43号『工事請負契約の締結について』

平成19年度予算額一覽表

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	議決後の額
一般会計	32,769,648	3,338	32,772,986
特別会計			
国民健康保険	13,056,400	0	13,056,400
老人保健	7,402,700	0	7,402,700
介護保険	5,615,800	0	5,615,800
公設地方卸売市場	80,400	0	80,400
公共下水道事業	3,168,400	1,974	3,170,374
駐車場事業	327,000	0	327,000
小計	29,650,700	1,974	29,652,674
水道事業会計	5,215,020	0	5,215,020
合計	67,635,368	5,312	67,640,680

新たに設置された特別委員会の構成と設置目的

委員会の名称	委員長		副委員長		所管事項
	委員の氏名	委員の氏名	委員の氏名	委員の氏名	
基地対策特別委員会 (定数8人)	大近 藤 村 富 良 藤 崎 高 忍 橋 野 武 也 岡 田 壽 根 滝 口 彦 信 佐 藤 敏 夫 多 美 男				基地等に関する諸問題について調査研究するため
みなと木更津活性化特別委員会 (定数8人)	荻平 野 野 一 男 野 野 田 卓 義 西 野 勝 久 大 山 俊 幸 石 井 上 誠 量 三 井 夫 俊				みなと木更津再生構想の推進に関する調査研究のため
合併調査特別委員会 (定数8人)	平 野 野 秀 樹 鶴 岡 大 貴 治 高 白 英 志 後 藤 清 秀 前 田 清 治				君津地域4市合併・中核市への取組調査のため

5号「みなと木更津活性化特別委員会の設置について」 発議案第6号「合併調査特別委員会の設置について」 いずれも特定の事項について専門的な調査研究をするため、新たに特別委員会を設置しようとするものです。

各特別委員会の所管事項と委員構成は、左表のとおりです。

原案可決 全会一致

発議案第7号「廃棄物中間処理施設建設に関する意見書について」

請願第1号の内容に関する意見書を千葉県知事に提出しようとするものです。

原案可決 全会一致

請願第1号「廃棄物中間処理施設建設反対に関する請願書」 笹子地区に建設が計画される廃棄物中間処理施設について、地域住民にとつての良好な生活環境を将来的に保持するため、建設許可をしないよう措置することを求める意見書を千葉県知事に提出しようとするものです。

請願者：笹子自治会・会長 茂田隆 外1団体

採 択 全会一致

陳情第2号「国における平成20年度(2008年度)教育予算拡充に関する意見書」 採択に関する陳情書 現在の教育を取り巻く急激な環境変化に対応した、行き届いた教育を保障するために必

陳情第2号「国における平成20年度(2008年度)教育予算拡充に関する意見書」 採択に関する陳情書 現在の教育を取り巻く急激な環境変化に対応した、行き届いた教育を保障するために必

陳情第2号「国における平成20年度(2008年度)教育予算拡充に関する意見書」 採択に関する陳情書 現在の教育を取り巻く急激な環境変化に対応した、行き届いた教育を保障するために必

要な予算の拡充を図るよう、国に対して意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：千葉県教職員組合君津支部・支部長 柏谷哲也

採 択 全会一致

陳情第3号「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」 採択に関する陳情書 義務教育の円滑な推進を図るため、義務教育費の国庫負担制度を堅持するよう、国に対して意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会・会長 安藤昭雄

採 択 全会一致

陳情第4号「地域手当の県内格差支給是正に関する意見書」 採択に関する陳情書 同じ県内に勤務する教職員の給与に大きな格差があることは、教職員間に不公平感が生じ、円滑な人事異動や優れた人材確保に重大な影響を及ぼすことが懸念されることから、千葉県内で働く教職員の地域手当の格差を是正するよう、国に対して意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：陳情第2号に同じ

採 択 全会一致

議員全員協議会で報告された事項

全員協議会は、法令等で決められた会議ではありませんが、事実上、全議員が議場に集合して開かれる会議です。市政に関する重要な事件や市議会内部の処理事項等についての協議、報告等が行われます。

6月27日

- 木更津市第3次総合3か年プランについて
- 羽田再拡張事業に係る山砂運搬について
- 平成19年度住民参加型市場公募債の発行概要について
- 木更津駅西口再開発ビル(アクア木更津)の現況等について
- 水道料金収納業務の民間委託について
- 君津地域水道事業の統合・広域化に向けた検討について

委員会の動き (5月~7月)

- 総務常任委員会 6/20 付託案件審査(議案3件)
- 経済環境常任委員会 6/20 付託案件審査(請願1件)
- 教育民生常任委員会 6/21 付託案件審査(議案4件)
- 建設常任委員会 6/21 付託案件審査(議案5件)
- 議会運営委員会 6/5 6月定例会議事運営について
- みなと木更津活性化特別委員会 7/10 みなと木更津再生構想の進捗状況について

次の定例会は、9月4日(火)から開催される予定です。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください

- 声の議会だよりについて 視覚障害者を対象に市議会だよりを録音したテープを貸し出しています。申し込みは議会事務局へ。
- 会議録の閲覧について 平成19年6月会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館などで平成19年8月15日(水)頃から閲覧することができます。
- インターネットによる会議録の検索・閲覧について 市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」で、本会議および委員会の会議録をご覧いただけます。

URL <http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/> (平成19年6月会議録【HP版】は8月中旬公開の予定です。)

議会広報委員の紹介

4月の木更津市議会議員一般選挙により28名の新しい議員が決まりました。これに伴い「ささら」市議会だより」の編集を行う、「木更津市議会広報委員会」も新メンバーとなりました。

市議会の活動が皆様に伝わるよう、読みやすく、充実した議会だより作りに努めてまいります。

- 委員長 白坂 英義
- 副委員長 近藤 忍
- 委員 岡野 卓志
- 委員 平野 貴志
- 委員 斎藤 俊夫
- 委員 高橋 子
- 委員 國吉 てる子

